

チャペル週報

No.2

2016.4.18 ~ 4.22

なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。
あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。
(ルカによる福音書24章5節)



タンバス記念礼拝堂(神戸三田キャンパス)

関西学院宗教センター

イースター —与えられた希望—

Andreas Rusterholz

「うまく失敗や挫折をしないと希望が生まれない」。希望学を専門とする経済学者の玄田有史教授は、「キャンパス アサヒ・コム」の特集（2015年2月掲載）でこう語りました。しかし、それは立ち直れないほど大きなダメージを与える失敗や挫折ではなく、子供の成長を見守る親の適切なサポートにより克服可能な、新しい希望につながる失敗のことだと、氏は付け加えています。

でも、病気や不愉快なことを経験して、途方に暮れたり、お先真っ暗という挫折感を味わうこともあります。十字架に付けられたイエスさえそのような挫折感を覚え、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」（マルコ15：34）と大声で叫ばれ、息を引き取られました。イエスの弟子たちも、イエスに死刑が宣告されたときに落胆し、イエスの死により全ての希望を奪われ、深い絶望に襲われてしまいました。立ち直りにつながる要因は何一つありませんでした。話し合ったり、励まし合ったりすることによって克服可能な絶望ではなかったからです。これが、聖金曜日の出来事です。

弟子たちに新しい希望が与えられたのは、その二日後の日曜日、後にイースターと称されることになる日でした。その日、墓を訪れた婦人たちが、復活したイエスを見た報告したのですが、その話に耳を貸そうとしなかった男性の弟子たちは、自分の目で復活したイエスを見て初めて、それを受け入れることができ、イエスはやはり神に見捨てられなかったと悟りました。神がイエスを死者の中から起こしたことで、新たな希望が与えられ、ようやく絶望感を克服することができたのです。この後弟子たちは、自分を顧みる人が一人もおらず、寂しくて途方に暮れたときに、神こそが自分を顧みてくれると、告白するようになりました。

キリスト教の原点であるイースターは、その喜びを覚える日であり、人生を一転させる原動力のある出来事を語り続ける日でもあります。一人ひとは神に覚えられ、大切にされています。人に頼れないと思うときでも、神だけは自分の傍におられる、それは確かな基盤であり、「生きるにも、死ぬにも、人間のただ一つの慰め」（ハイデルベルク信仰問答）なのです。

(文学部宗教主事)

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

4月18日(月) 神 岡 嶋 宙 士(神学研究科M2)
経 学生生活オリエンテーション③
人 賛美歌を歌おう② 広 瀬 康 夫(吉岡記念館事務室職員・グリークラブ技術顧問)
聖 真っ赤なうそ
理 前 川 裕(宗教主事)

4月19日(火) 神 シリーズチャペル「平和を創る」加 納 和 寛(神学部准教授)
文 永 田 雄次郎(文学部教授)
社 賛美歌に親しむ一聖歌隊と共に
法 大 宮 有 博(宗教主事)
経 学生生活オリエンテーション④
商 献血実行委員会
国 チャペルオリエンテーション(1) 平 林 孝 裕(宗教主事) /
イースターをおぼえて(1)
聖 校歌紹介 関西学院グリークラブ
理 前 川 裕(宗教主事)
総 フィリピンの女性と子どもと一緒に歩む学生団体 くじら

4月20日(水) 神 森 美由紀(神学研究科M2)
社 "KG Spirit"とは② 小 菅 正 伸(副学長・商学部教授)
法 献血実行委員会
経 学生生活オリエンテーション⑤
商 山 本 俊 正(宗教主事)
人 <講演会のため休止>
国 チャペルオリエンテーション(2) 平 林 孝 裕(宗教主事) /
イースターをおぼえて(2)
聖 山 本 伸 也(教育学部教授)
理 エコハビタット関西学院
総 総合政策学部 創立記念チャペル

4月21日(木) 神 聖書研究会ポブラ
文 上ヶ原ハビタット(RIN)
社 グリークラブ
法 大 宮 有 博(宗教主事)
商 井 上 達 男(商学部長)
国 English Chapel Timothy Y. Tsu(国際学部教授)
聖 高 田 正 久(聖和短期大学教授)
理 Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

4月22日(金) 院 Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)
神 <コーヒーチャペル> 神 田 健 次(神学部教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
人 藤 井 美 和(人間福祉学部教授)
理 KSCハンドベル&アンサンブル

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
4月22日(金) 高等教育推進センターのために 平 林 孝 裕(高等教育推進センター長)

●春の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：4月18日(月)～22日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●チャペルオルガニスト募集

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しており、本年は4月30日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン(有料)を受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

募集要項・応募用紙の入手先

・ホームページ

関西学院大学ホームページからダウンロードできます。

学生オルガニスト 検索

・電子メール

organist@kwansei.ac.jpにあなたのキャンパス名を書いたメールを送信してください。
返信で送ります(添付ファイルが受信可能なメールからお送りください)。

・事務室

宗教センター(吉岡記念館1階)、聖和キャンパス事務室教育学部担当(1号館1階)、
神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)に置いています。



QRコードリーダー対応の
携帯電話をお使いの方は、
左記のQRコードから
アクセスしてください。

応募期間：4月1日(金)～4月28日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求：宗教センター オルガニスト募集担当

電話：0798-54-6018 E-mail：organist@kwansei.ac.jp

●関西学院チャペルオルガニスト スプリング・コンサート

各学部のチャペルで奏楽を担当している学生オルガニストが得意曲を披露します。

と き：4月19日(火)、21日(木)12:50～13:25

ところ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

●第203回ランパス演奏会

「時代を超えた讃美歌を中心に」

植生の宿／伝統的キャロル、世のはじめ／19世紀キャロル、

美しき地と／20世紀キャロル、小さな空／武満徹、ほか

演奏者：平井満美子(歌) 佐野健二(リュート)

と き：4月21日(木) 17:00開演

ところ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：宗教センター 〈入場無料〉

●関西学院イースター礼拝

イエスの復活を覚えて、関西学院のルーツを探してみましよう。

参加者にはイースターエッグ(ゆで卵)をプレゼントします。

と き：4月27日(水)17:00～18:00

ところ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：関西学院宗教活動委員会

協 力：宗教総部、チャペルオルガニスト、聖歌隊、ハンドベルクワイア、
ゴスペルクワイア“P.O.V.”、バロックアンサンブル

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

2016年4月主題：「イースターを迎えて」

4/21(木) 山本俊正(キリスト教と文化研究センター長)

4/28(木) 舟木 譲(宗教総主事)